

# 毛呂山

毛呂山町勢要覧 2010  
(改訂版)  
MoroyamaTown



毛呂山町は、恵まれた自然と先人の築いた歴史と文化を持つ町です。ふるさと毛呂山に住むことを誇りに思い、希望を胸に日々の生活を営む町民の息吹をこの町勢要覧で感じとっていただければ嬉しく思います。

首都圏50km圏内に位置する当町は、昭和40年代前半から急激な人口増加により都市化が進み発展を続けてきました。

いつの時代であっても生活環境基盤全般の整備が急がれます。平成24年2月には都市計画道路「新飯能寄居線バイパス」が開通し、30数年かかりましたが毛呂山工区が全線開通いたしました。また、生活道路整備も計画的に順次進められており、安心・安全なまちづくりに取り組むのは勿論ですが、併せて企業誘致、観光施策、更なる地場産業の発展のために鋭意努力をしているところです。

まちづくりの指針となる「第四次総合振興計画」も後期基本計画の策定から、より計画的に具現化した町政運営を目指しておりますが、なかでも町民皆さまとの「協働のまちづくり」のためには、それを更に分析した「自助・共助・公助」というこれからの考え方が不可欠であり、住民と共に力を合わせ、夢と希望に満ちた毛呂山町に発展するように精進してまいります。

950年以上の歴史を誇る「流鏑馬」の町、全国ではじめて産地化した元祖「ゆず」の町、武者小路実篤の理想郷「新しき村」がある町、そして埼玉医科大学病院による「医療と福祉」の町。毛呂山町のすべてを後世に受け継ぐため、この町勢要覧をご覧いただき、町に対しての更なるご理解とご協力をいただければ幸いです。

平成24年7月

## 毛呂山町長 井上健次

Moroyama is a town rich in nature and steeped in the history and culture of our forebears. Living in the traditional Japanese village which is Moroyama fills me with pride, and more than anything I hope that this guidebook will impart the spirit of the local townspeople as they go about their daily lives, hope ever in their breasts.

Located within the 50km metropolis sphere of Tokyo, in the late 60s Moroyama experienced a sudden population growth which has led to continued positive urbanization and development ever since.

Regardless of the decade, the living environment and infrastructure of the town always remain a priority. In February of 2012 'Shin-Hanno-Yorii Bypass' (a city planning road) was opened to traffic, thus marking completion of the final stage of a 30 year construction project by Moroyama. Systematic local road maintenance likewise continues apace, as we work hard to ensure not only a safe and pleasant town for all, but also to invite new businesses, attract tourism and develop local industry.

As the guideline behind our town-planning the Fourth Comprehensive Promotion Plan likewise aspires, since the establishment of our 'latter period basic plan,' towards a more systematically realized town administration. Above all else, the most indispensable philosophy behind town planning in Moroyama is 'cooperative community development,' or more specifically, the three tenets of 'self-help, mutual cooperation and public assistance.' Working together with local residents, we are committed to building a Moroyama rich in hopes and dreams

Boasting of over 950 years of history, Moroyama is a town known for horseback archery. As the first production center in the country and a national pioneer, it is also a town known for its delicious yuzu (Japanese citron). It is a town which features Saneatsu Mushakoji utopian village plan, "Atarashiki Mura", and, thanks to Saitama Medical University Hospital, a town known for its medical care and public well-being. I sincerely hope you will take the time to read this guidebook, learn more about our town, and help to ensure that all that Moroyama has to offer can be bestowed upon future generations.

July, 2012

Kenji Inoue, Mayor of Moroyama

### 目次

#### 2 毛呂山道標

2 かつて、人は、神に願った

6 そして、人は、ひたむきに走った

7 やがて、人は、理想を描いた

8 想いは、人を結び、実を結ぶ

10 未来を託す、人づくり

12 もろやまの歩みと

14 もろやまを支えてきた人びと

#### 14 もろやまをもっと知り隊

14 豊かな自然がフィールド 観光

18 行って、見て、参加して 祭り

20 素材の良さが自慢 特産

#### 22 明日を見つめる

22 まちづくりストーリー

埼玉県南西部に位置する毛呂山町は、総面積34.03km<sup>2</sup>で東西約9km、南北約7.5kmに広がるくびれた鼓状の形状をしています。山地と平野を有する多様な地形で、穏やかな気候と豊かな自然に恵まれています。

西部に広がる山地は標高約300~400mで、外秩父山地の東縁部にあたり、一部が県立黒山自然公園に指定されています。その中心に農業用灌漑貯水池の鎌北湖があります。中央部から東部にかけての平地には越辺川と高麗川が流れ東部に広がる水田地帯を形成しています。

町内を南北に県道飯能寄居線、東西に県道川越坂戸毛呂山線、県道川越越生線が通り、重要な幹線道路となっています。また、市街地となる中央部をJR八高線と東武越生線が走り、都心から50km圏内という立地とアクセスの良さから東京都内への通勤圏に入るために宅地化が進んでいます。



36	34	32	30	28	26	24
主な公共施設	毛呂山町ガイドマップ	住民と行政の協働によるまちづくり	元気に仕事ができるまちづくり	自然と共生した安全で快適なまちづくり	学びを未来に活かすまちづくり	健康で安心して暮らせるまちづくり



①



②

**People prayed to God.**  
(Koshiki Yabusame \*)

As soon as a young boy appears wearing the traditional costume, the venue will be enveloped in a thick silence. As one enters the site lead by Kuchitori (a horsekeeper) and shoots an arrow from the back of the running horse, big cheers arise from the crowd. The horse riders perform by horsewhipping and paper fan, scattering rice cakes and oranges and receiving a lot of applauses.

At Moroyama, Yabusame is held every spring on the second sunday of March and autumn on the 3rd of November.

Its origin is said to be that Minamoto no yoriyoshi and yoshiie (father and son) expressed their deep gratitude to God for the victory won during the war in 1063.



③

# もろやま

毛呂山町勢要覧2010

## 道標

みちしるべ



歴史を紐解くこと、それは——  
なぜ、今の姿があるのかを  
理解すること。  
未来に想いを馳せること、  
それは——  
今、何をすべきなのかを  
考えること。  
これは、時空を超えて毛呂山を  
旅するための道標です。

**Moroyama Signpost**

We learn history to understand how the present has been developed. We look forward to the future to think what we should do now. This is a signpost for the journey to Moroyama beyond space and time.



6



4



5

- 1 願的瞬間。精神を統一し、的を見つめる。
- 2 かけ声とともに全力で走る口取り。
- 3 勝海舟の書と伝えられる出雲伊波比神社の幟。
- 4 馬場入り直前の真剣なまなざしの乗り子。
- 5 源氏・藤原氏・平氏を表す3色の旗。
- 6 ムチ、扇子などの馬上芸も披露。
- 7 乗り子、祭馬、口取りが呼吸を合わせる一瞬。



7



若武者が姿を現すと、ざわめいていた馬場に、水を打ったかのような静寂が訪れる。凜々しさのなかにもあどけなさが残る乗り子は、まだ10代の少年。蹄の音も高らかに、疾風のごとく駆け抜ける一馬。張りつめた空気を切り裂くように、馬上から放たれる矢。どつと湧き上がる歓声と拍手のなかを、引き続き、二の馬、三の馬が、怒涛のごとく駆け抜けて行く…。

毛呂山町の流鏝馬は、毎年、春（3月第2日曜日）と秋（11月3日）に行われます。鎌倉の鶴岡八幡宮の創建に携わった源頼義・義家父子が、奥州平定の途中で出雲伊波比神社で戦勝祈願を行い、康平6年（1063）、凱旋の折りに再びここを訪れて流鏝馬を奉納したのが始まりだと言われています。

現在、県内に残っている流鏝馬は、毛呂山町とときがわ町萩日吉神社の2か所のみ。毎年奉納される流鏝馬は毛呂山町だけとなっています。

約950年の歴史を誇る毛呂山の流鏝馬は、他所の流鏝馬では見られないような古式ゆかしい式次第によって進行するのが特徴。平成17年には県の無形民俗文化財に指定されました。流鏝馬を行う馬は3つの当番区から出されており、先頭を走る一の馬は白で源氏、続く二の馬は紫で藤原氏、最後の三の馬は赤で平氏を表していると言われています。源平を表す紅白の取り合わせに藤原氏の紫が加わっていることは、この流鏝馬が、かつてこの地に土着して毛呂氏を名乗った藤原氏一族

### 古式「流鏝馬」

平安時代から連綿と受け継がれてきた出雲伊波比神社の流鏝馬。武運長久を願い、凱旋の際に奉納された。人々の志と心意気を神に示すべく、まっすぐに、ひたすらに、矢は放たれる。

かつて、人は、神に願った

This is the only place in Saitama Prefecture where Yabusame is dedicated every year. Moroyama's Yabusame boasts about its 950 years of history and was designated as a Prefectural Intangible Cultural Heritage in 2005.

It is unusual in Japan to take young boys as the archer called Noriko. Noriko are selected among all male children whose family members were not involved in any mourning events. They work and train hard for the various ceremonies for 10 days.

の影響が強かったことを表しているようです。

乗り子と呼ばれる射手が少年であることは全国でも珍しく、毛呂山の流鏑馬の大きな特徴となっています。乗り子は忌事のなかつた氏子から選ばれ、流鏑馬当日を迎えるにあたり、

厳しい稽古・精進を重ねるとともに、およそ10日間にも及ぶ様々な儀式に参加しなければなりません。秋の流鏑馬の場合、まず、10月下旬に祭馬を借りて「稽古始め」となり、早朝と夕方の毎日の「稽古」を経て、俗世間の穢れを祓い、神に

近づくための「お精進」、馬に乗って町を練り歩く「重殿行き」と「町廻り」、神職と共に行う「饗応」…と、本番に向け、準備が進められていきます。これらの儀式の一つひとつが乗り子の士気を高めるとともに、町中の人びとの祭り気

分を盛り上げ、地域が一丸となつて流鏑馬を成功へと導くための大事なプロセスとなっているのです。

流鏑馬のメインは午後の夕刻です。午後2時ごろ、花笠に陣羽織、背中には母衣を背負い、腰には太刀を佩き正装した乗り子が、

う一行による馬みせ、凱旋のお礼として一の馬だけが行う願的、正装を着替え、馬場を一往復するジニミチのあと、矢的と呼ばれる騎射が行われます。

一瞬の静寂を突き破り、乗り子が放つた矢が、パンという音と



矢取りと大勢の口取りを従え、毛呂本郷の的宿を出陣。通りでは追

出の餅が派手にまかれ、そのなかをホイホイという勇ましいかけ声とともに神社へ。

馬場では、あふれんばかりの観衆が見守るなか、乗り子につき従

もに的板に命中すると馬場は大きな歓声に包まれます。

射られた矢は、古来より「蚕室に置くと蚕が当たる」「子どもの夜泣きが治る」などと言われ、縁起物として珍重されています。こ

れは、流鏑馬が神事であるとともに

に、伝統や風土に根差した民間信仰とも深い関わりがあることを物語っています。流鏑馬が奉納される出雲伊波比神社の本殿は埼玉県最古の神社建築で、昭和13年に国宝に指定され、その後、文化財保護法制定にともない、昭和28年に国指定重要文化財となりました。

なお、春の流鏑馬は、「七つうちは神の子」とされる7歳前の小さな男の子が主役。白・紫・赤の3色で飾り立てられた花笠と赤い陣羽織で盛装したその姿は、まるで小さな武者人形のようなのです。こちらは1日限りの祭り、祭馬も1頭のみ。的も願的のみ。

みで、射る矢も1本限りで行われます。秋の流鏑馬と比べると穏やかな雰囲気の流れ馬ですが、早春のうららかな日差しを浴び、和やかに行われる流鏑馬もまた、毛呂山の人びとにとって大切な年中行事の一つです。

At Yabusame held in spring, a boy younger than seven years old plays the lead role. He wears a beautiful decorated hat and red battle surcoat is like a little warrior doll. This is a one-day festival and only one arrow is shot. Yabusame is held on a warm spring day and is one of the important annual events for people of Moroyama.

\*Yabusame is a military art where a person discharges an arrow while riding on a running horse.



3



4



1



2

- 1 前日に行われる「重殿行き」と「町廻り」。前久保祭礼宿で焼米の饗応を受け、再び町へ。
- 2 三頭の馬で町を練り歩く。
- 3 戦国絵巻さながらの野陣のじん。柿などの饗応を受ける。
- 4 的宿めがねを出陣。屋根の上から餅がまかれる。

## 春の流鎗馬



3



1



2

- 1 的宿を出発。神聖な儀式にのぞむ前に緊張感が漂う。
- 2 春の流鎗馬の主役は幼い男の子。武者人形のような愛らしい姿に、人びとの歓声上がる。
- 3 乗り子の頭上には、母親の象徴といわれるオカイドリ(小袖)が掲げられる。



鎌倉街道

鎌倉街道とは、鎌倉を起点として関東諸国を通り抜け、信濃・越後・奥州などの地方まで続いた道のこと。鎌倉幕府が軍事道路や物資の流通経路として整備しました。有事の際には、幕府の御家人たちが「いざ鎌倉」と馳せ参じた道として知られています。

「鎌倉街道」は関東地方だけでも3つの主要ルートがありました。それぞれの道は「上道」「中道」「下道」と呼ばれ、このうち毛呂山町の東部を縦貫しているのが、「上道」。街道筋には当時を思わせる史跡や逸話が数多く残っており、街道跡の保存状態も極めて良好であるため、今でも多くの歴史ファンが訪れています。

武将たちは、戦に勝ち、より盤



市場地内の鎌倉街道遺跡

People then ran with a single mind. (Kodo-Kamakura Kaido)

Kamakura Kaido is the road that Kamakura Shogunate constructed for military purpose and for goods distribution. This road is known as Gokenin connecting to Kamakura, if emergency arises. ("Iza Kamakura") Of the three routes of Kamakura Kaido, "Kamitsumichi" goes through the eastern part of the town. Many history fans visit this as it is maintained in a good condition.



歴史民俗資料館



苦林野古戦場と慰霊のための千手観音

### 古道「鎌倉街道」

「いざ鎌倉」と馳せ参じた、鎌倉幕府の御家人たち。当時は重要な軍事道路として、また流通経済の経路として、関東武士や商人の栄枯盛衰を見つめてきた道。鎌倉街道は今もなお、往時の面影を偲ばせつつ、ひっそりと時を刻み続けている。

そして、人はひたむきに走った

理想郷「新しき村」

やがて、人は理想を描いた



武者小路実篤 (1885-1976) の自画像

「人間らしく生きる」「自己を生かす」「他人の自我を害してはいけない」。  
 文豪・武者小路実篤が、人間の理想郷を提唱して築いた『新しき村』。九州・日向の地で始まったこの試みは、昭和14年、毛呂山町に舞台を移し、現代に引き継がれている。

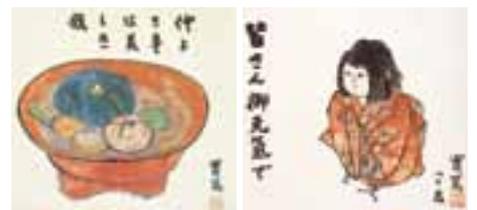
志賀直哉、有島武郎らとともに文学雑誌『白樺』を創刊した武者小路実篤。小説をはじめ人生論や芸術論などを精力的に発表し、白樺派の精神的な支柱として活躍した人物です。  
 大正7年、実篤は、階級闘争のない理想的な調和社会の実現を目指し、宮崎県木城村(現・木城町)に「新しき村」を建設。しかし、昭和13年、ダム建設が本格化したことで、村は移転を余儀なくされました。そこで「新しき村」の村民たちは、自然と緑に恵まれ、歴

史と文化が薫る毛呂山を新天地と定め、翌年、新たに「新しき村」を築いたので。  
 以来、村民は毛呂山町民との交流に努めてきました。村の「創立記念祭」などのお祭りを開催し、特産品(卵・椎茸・米・お茶など)の即売や模擬店の出店、演劇発表会(日本舞踊・朗読)などを地元の人びとと共に楽しみました。また、毛呂山町の農家が、毛呂山の風土に合った作物や農法を村民に指導することもあり、産業面での交流も行われました。さらに、託児所不足が深刻だった昭和43年には、「新しき村仲よし幼稚園」を開設。村の住人も毛呂山町民も安心して子どもを預けられる場所となり、

昭和59年3月に閉園を迎えるまで、多くの子どもたちが巣立っていきました。  
 実篤が育んだ「新しき村」は、彼が理想とした各人の個性を互いに尊重しつつ、平和的協力のなかで自分を伸ばすことを集団生活において目指したものでした。物質面よりも精神の豊かさを唱え、競争よりも共生を主張した実篤の思想は現代社会が直面している課題を先駆けて提唱したものであったともいえます。なお、毛呂山町と宮崎県木城町は「新しき村」が縁で平成20年2月に友情都市の盟約を締結し、産業まつりなどのイベントに参加しあうなど、交流が行われています。



実篤の残した作品



新しき村美術館



宮崎県木城町／日向新しき村



毛呂山町の特産品でもある「新しき村」の鶏卵

Later, people started to set a vision. (A utopian commune “Atarashiki Mura”)

A Shirakaba Group novelist Saneatsu Mushakoji advocated a utopian commune and established “Atarashiki Mura”(New Village) in Kijo Village (present Kijo Town), Miyazaki Prefecture in1918. However, because of a dam project at Kijo Village, Atarashiki Mura was relocated to Moroyama Town in 1938. Since then, the villagers have socialized with people of Moroyama Town in diverse ways. In February 2008, Moroyama Town and Kijo Town became Friendship Towns.

# 想いは、人を結び、実を結ぶ



ふるさとの緑と清流。  
四季折々の恵み、教養と文化の薫り。  
古来より人びとが願い、思い描いてきた、  
真に豊かな暮らし。  
それらをひとつずつ叶えてきた末に、  
毛呂山の「今」がある。

## 自然と共生する町

豊かな自然に囲まれた毛呂山町には、花の名所といわれるスポットがたくさんあります。春は梅に始まり、ハナモモ、桜、菜の花、チューリップ、ポピー、バラやゆずの花。夏はアジサイ。秋には一面のコスモス。町の至るところで四季折々の花々に親しむことができるのです。大類地区や滝ノ入地区では遊休農地が地域のボランティアによって花畑として有効活用され、訪れる人の心を和ませています。

また、毛呂山は、森林に恵まれた町でもあります。生活スタイルの変化にともない、日本各地の森林は急速に失われつつあります。

このような時代にあつて、毛呂山町は、森林を環境林・風景林として維持するとともに、町有林を民間企業のボランティア活動の場として提供し、枝打ちや山桜の植樹などを行ってもらう「企業の森活動」を推進し、美しい里山の再生を進めています。

現在、町の北西部は埼玉県立黒山自然公園に指定されており、花や樹木に触れ、愛らしい自然の生物たちに出会える場所として親しまれています。

## ゆずの香る町

毛呂山町は日本最古とも言われるゆずの産地で、昭和56年に町の木として指定されています。毛呂山のゆずは非常に香り高いことで



刈り入れ間近な稲穂の波（箕和田地区）



桃源郷を想わせる美しいハナモモ（滝ノ入地区）

**A passion will connect people and bear fruits.**  
(The present state of the town)

•The town lives together with nature.

Moroyama Town is surrounded by a rich natural environment. There are many famous spots for flowers. You can enjoy the flowers such as cherry

美しい自然に恵まれ、歴史と伝統に育まれた毛呂山町。季節の移り変わりとともに、町の各地でさまざまな伝統行事や祭りが繰り広げられています。さらに、現代の毛呂山の人たちが創意工夫して企画した新しいイベ

## 人と人がつながる町

知られており、その風味を生かしたジャムなどの加工品も人気があります。毎年11月23日には黄金色に実ったゆずの里山を歩く「ゆずの里ウォーク」、12月には「ゆず祭り」を開催。「ゆずオーナー制度」も始まり、収穫の楽しみも加わりました。

いつもどこかで人が集い、笑顔と活気に満ちている。小さな子どももお年寄りも、心の底から楽しめる行事が開催されています。毛呂山はそんな町なのです。

衣を身にまとつての盆踊りなど、都会では既に姿を消しつつある伝統行事の数々に、毛呂山の歴史と文化が薫ります。また、町をあげての一大イベントである産業まつりをはじめ、町民レクリエーション大会、ふれあい広場、ゆずの里ウォーク、各種スポーツ大会など、新しい時代に生まれた行事も着々と回を重ねており、毎回多くの人びとで賑わっています。



伝統を次の世代へ伝えてゆく

先人たちの心を現代の私たちに伝えるとともに、今を生きる人と人との新しい出会いをもたらし、つなげていくためのステージです。  
人と人との触れ合いが希薄になりがちな現代、古式ゆかしい流鏝馬や獅子舞、灯明をつけて夏の夜を巡行する山車引き廻しの夏祭り、浴



ふれあい広場  
障害者への理解を深める



町民レクリエーション大会



人と人がふれあえるまち(かぼちゃと新鮮野菜の朝市)

blossoms, rose, hydrangea and cosmos through four seasons. Local volunteers use barren farmlands as flower meadows. The northwestern part of the town is designated as Saitama Prefectural Kuroyama Nature Park where you can enjoy the natural environment.

•The town with Yuzu (a kind of citrus fruit) fragrance

Moroyama Town is the oldest production center of Yuzu in Japan and famous for its lovely fragrance. Yuzu was designated as "The Tree of the Town" in 1981.

•The town that connects people.

There are many new events that everyone from small children to elderly people can enjoy throughout the seasons. The town is always full of smile and excitement.



未来は子どもたちの手の中に (子ども会ソフトボール・ティーボール大会)



ALT 授業



# 未来を託す、 人づくり



町にとって最も大切なものは「人」。だから、未来を担う人材の育成には、惜しみなく力を注ぐ。子どもたちを育む心は、今を生きる私たちが未来に向けて放つ矢であり、次世代に残す確かな道標だから。

子どもたちを待ちうけている「見えない未来」は、いったいどんな姿をしているのでしょうか。行き先が不透明だからこそ、どんな時代が来ても生き抜いていける力を持った、健やかな子どもに育ててほしい。そのための努力を惜しまず、常に子どもたちをサポートしていくことは、大人たちの重要な責務です。毛呂山町では、すべての子どもたちの健康が守られ安心して暮らせる社会を目指し、子育て環境、保健・医療、教育・文化の充実に努めています。

## 子育て環境

毛呂山町には、町立保育所3園、学童保育所3か所、私立認可保育所3園、私立幼稚園3園などがある。

ります。働きながら安心して子どもを預けられる保育施設や、それぞれの教育理念に基づいて特色ある幼児教育を実践する幼稚園などが整っており、出産後も仕事を続けるお母さんとお子さんをサポートしています。

## 保健・医療

子どもをはじめ、すべての人たちが健康で明るい毎日を送れるよう、乳幼児・障害児(者)・ひとり親家庭などを支援する制度と施設の拡充に取り組んでいます。また、町内の医療機関の連携が進められ、例えば、かかりつけの病院や医院から紹介された患者を大学病院が受け入れ、必要な検査や治療を施した後、継続的に治療が必要

Developing human resource for a reliable future. (The future of the town)

Moroyama Town develops its environment for raising children, health, medical care, education and culture for children's health and future.

•The environment for raising children

Moroyama Town has three nursery schools, three after-school day-care centers, three private licensed nursery schools, and three private kindergarten schools to support the establishment of the environment where families with children can be safe to carry on working.

中学校体育祭



町立図書館



な場合は再び元の医療機関で対応するなど、お互いが役割分担することで、地域に密着した医療サービスの構築が図られています。

## 教育・文化

次世代を担う子どもたちを心身の調和のとれた人間に育てていくためには、質の高い教育と文化のある町づくりを構築していくことが大切です。毛呂山町では、子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばすとともに、自ら考え行動できる主体性や、社会の変化に対応できる柔軟性を身に付けることを

重点目標に、創意と工夫に満ちた教育を推進しています。そのために、「基礎学力の定着」を目指し、町内の小・中学校に子どもたちの学習を授業中にサポートする支援員を配置しています。学ぶ喜びを実感することで、将来の知る喜びへとつながるようなきめ細やかな指導を行っています。その他、教育講演会、研修会などを計画的に実施し、教職員の指導力や資質の向上に取り組んでいます。



心の道標としていつまでも



正しい情報社会のありかたを（パソコンを使った授業）

### •Health and Medical care

We conduct improvements in the system and facility that support families for healthy life everyday. We try to improve and formulate the medical services by progressing networking between the medical institutions and separating roles for the University hospital and town medical institutions to share information.

### •Education and Culture

For children of the next generation, it is important to establish the town with a high quality of education and culture. Moroyama Town is improving the imaginative and creative education system to develop a child's individual character and capability.

# もろやまの歩みと もろやまを支えてきた人びと

西 暦 年 号 毛呂山町のいきづいて

四〇〇〇年前 縄文時代(中期) この頃の土器片や住居跡が、葛貫西ノ前・葛貫新田東・西戸松の外・前久保白綾・下川原上殿・西大久保まま上等の遺跡で発見。

二〜三世紀頃 弥生時代(後期) この時代のものでされる壺が、葛貫および滝ノ入中在家等の遺跡から発見。  
六〜七世紀頃 古墳時代(後期) 玉林寺・大類・川角等の円墳や前方後円墳が造られた。

十世紀前半 平安時代(後期) 桂木寺の木造伝釈迦如来坐像が造られる。

一〇六三 康平 六 源頼義・義家父子が出雲伊波比神社に流鏑馬を奉納。

一一八〇 治承 四 源頼朝が鎌倉の新しい御所に移る際、毛呂季光は源氏一門や北条氏とともに頼朝の側に従う。

一一九三 建久 四 毛呂季綱に、源頼朝から比企郡の泉・勝田の地を賜わる。

一二四六 貞和 二 宿谷に山根六角塔が建立。

一五二八 大永 八 毛呂顕繁が出雲伊波比神社を再建。

一五九〇 天正 一八 豊臣秀吉の小田原攻めの時、北条氏照の八王子城は前田利家と上杉景勝に攻められ落城。毛呂氏の一族や宿谷氏の一族等が戦死。

一六六〜七二 寛文年間 現町内の各村々は徳川幕府の直轄領即ち天領となり、代官の支配下におかれた(その後逐次旗本領に分轄され一部大名領ともなった)。

一八一八 文政 元 川村碩布が春秋庵三世を継ぐ。

一八六七 慶応 三 権田直助が江戸の薩摩屋敷に入りし、倒幕運動にかかわる。

一八七三 明治 六 川角学校(現川角小学校)開校。

一八七五 // 八 馬場・平山・堀込の三村が合併して岩井村となる。市場新田は市場村に合併。

一八八九 // 二二 町村制が施行され、現町内は毛呂村・滝野入村(山根村と改称)・川角村の三村に。

一九三二 昭和 七 東武越生線が開通。

一九三三 // 八 八高線の東飯能・越生間が開通。

一九三五 // 一〇 山根溜池(鎌北湖)が完成。

一九三八 // 二三 出雲伊波比神社本殿が国宝(後に国指定重要文化財)に指定。

一九三九 // 二四 四月一日、毛呂村と山根村が合併して毛呂山町となる。

鎌倉時代から交通の要所であった毛呂山には、様ざまな人が行き交い、文化が花開きました。町の歴史を追うとともに、この地を舞台に活躍した先人たちの足跡に触れてみましょう。



## 毛呂季光

もろすえみつ ● 不明~1206

鎌倉初期に活躍した武蔵武士。源頼朝の重臣として、奥州征伐や京への上洛で活躍するなど、鎌倉幕府の政権樹立に貢献しました。中央貴族の名門藤原氏の血筋をひいていること、穏やかな人柄で人望があったことなどから頼朝の信頼が極めて厚く、毛呂郷の地頭職を務めるほか、豊後守も任命され、源氏一門に準じた家格まで与えられました。史記の「吾妻鏡」にも登場する人物です。

People who have supported Moroyama Town and Moroyama history. Moroyama has been the hinge of traffic access so that a variety of people come across to flower the culture.

Here are the footprints of those who made Moroyama what it is now.

**Moro Suemitsu**; unknown-1206 A Musashi samurai warrior who was active in the early part of Kamakura period.

**Kawamura Sekifu**; 1750-1843 A haiku poet of the late Edo period who was born in Banba Village (present; Morohongo), Iruma District.

**Ando Buntaku**; 1807 -1872 born in Asuwa Village a doctor of Dutch Medicine who spread the vaccination against smallpox.

**Gonda Naosuke**; 1809-1887 born into a family of doctors in present Morohongo. A medical man and a scholar of Kokugaku (national study).

**Elizabeth Florence Upton**; 1880-1966 Came to Japan as a Christian missionary and dedicated herself to infant education and welfare activity. She was named an honorary citizen of Moroyama.

## 川村碩布

かわむらせきふ ● 1750~1843



寛延3(1750)年、入間郡馬場村(現・毛呂本郷)の豪農の家に生まれた江戸後期の俳人。本名文久。芭蕉の流れをくむ俳人・春秋庵の加舎白雄の門弟となり、文化13年(1816)には春秋庵を継いで、武蔵野俳壇に大きく貢献しました。生涯を通じて諸国を歴遊し、遠くは長野県の姥捨山長楽寺(千曲市)にも句碑が残されています。

一九四七	〃三二	毛呂山尋常高等小学校（現毛呂山小学校）開校。
一九五五	〃三〇	六三制施行。毛呂山中学校は旧東雲高等小学校舎で、川角中学校は川角小学校に併置して開校。
一九五六	〃三一	四月一日、旧毛呂山町と川角村が合併し、新毛呂山町が誕生。 （人口1万1251人）
一九五八	〃三三	箕和田貯水池（箕和田湖）が完成。
一九六二	〃三七	毛呂山町役場旧庁舎が落成。
一九七〇	〃四四	長瀬地区に団地開発が始められた。
一九七四	〃四九	旭台保育園開園。
一九七五	〃五〇	若草保育園開園。
一九七七	〃五二	光山小学校開校。上町保育園開園。
一九八〇	〃五五	川角町民グラウンドオープン。老人福祉センター山根荘開所。
一九八一	〃五六	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合設立。泉野小学校開校。現役場庁舎完成。
一九八四	〃五九	町の木ゆず、町の花きくを制定。
一九八七	〃六二	中央公民館オープン。児童館オープン。
一九八九	平成元	新図書館オープン。中央陸橋供用開始。
一九九〇	〃二	公共下水道供用開始。総合公園体育館オープン。スポーツ健康都市を宣言。
一九九三	〃五	毛呂山町民憲章制定。町の鳥めじろを制定。
一九九四	〃六	歴史民俗資料館オープン。あいあい園オープン。
一九九六	〃八	大類グラウンドオープン。岩井学童保育所開所。
一九九八	〃一〇	新保健センターオープン。教育センター開所。毛呂山町環境保全条例制定。
一九九九	〃一一	川角学童保育所開所。
二〇〇〇	〃一二	ゆずの里オートキャンプ場オープン。総合公園グラウンドオープン。
二〇〇一	〃一三	毛呂山の流鏑馬が、21世紀に残したい埼玉ふるさと自慢100選に入選。
二〇〇二	〃一四	毛呂山町デイサービスセンター開所。
二〇〇三	〃一五	東公民館オープン。
二〇〇四	〃一六	大類ソフトボールパークオープン。岩井陸橋供用開始。
二〇〇五	〃一七	第59回国民体育大会 彩の国まごころ国体開催。
二〇〇六	〃一八	合併50周年記念式典挙行。防犯活動センターオープン。
二〇〇七	〃一九	新学校給食センターオープン。
二〇〇九	〃二一	第二あいあい園オープン。
		町内循環バス運行開始。泉野学童保育所開所。

## 安藤文澤

あんどうぶんたく ●1807~1872

文化4(1807)年、阿諏訪村(現・毛呂山町阿諏訪)生まれ。日本で種痘の予防接種を初期に広めた蘭方医。当時難病であった天然痘の治療法として、伝えられたばかりの牛痘接種法をいち早く採り入れ、自らの家族に接種を行ってみせることによって人びとの理解を得、その普及に尽力しました。佐藤尚中(東京・順天堂医院設立者)も文澤の門人でした。



## 権田直助

ごんだなおすけ ●1809, 1887



文化6(1809)年、現・毛呂本郷の医家に生まれ、江戸で医学と儒学を修めた後、帰郷して開業。古医道(日本古来の医学)に目を向け、「神道方經驗抄」などの著書を残しました。平田篤胤に入門、神道と国学の研究にも従事し、尊王攘夷運動に参加するなど明治維新にも深くかかわりました。晩年は神奈川県のおおやまあふりじんじや官や静岡県三島神社の宮司も務め、それぞれの神社の繁栄の基盤を築きました。

## エリザベス・F. アプタマン

1880, 1966



明治13(1880)年アメリカ合衆国生まれ。キリスト教伝道活動のため来日。幼児教育者として埼玉県下で活躍し、「愛をもて互いに仕えよ」と聖書の教えを説きました。全寮制の愛仕母学会を自費で創設し、保育者育成にも功績を残しています。昭和26(1951)年、毛呂山聖霊教会礼拝堂を建立、また育児施設を求めていた住民の必要に応えるため毛呂山愛仕幼稚園を設立。病院や福祉施設の訪問を日課にするなどの功労が認められ、名誉町民となりました。

# 知り隊

もろやま大好き、

もろやま観光大使のゆず娘3人組です！

私たちのまち、もろやまは豊かな自然に

囲まれた歴史のある町で見所や

プレイスポットがたくさんあるんです。

思いつき自然と親しんだり、

昔からのお祭いや史跡を訪ねたり、

楽しいイベントもありませんよ。そうそう、

美味しいものもたくさんあります。

さあ、一緒にもろやま探検に出発進行！



もろやまと一緒に探検わいわい！



まつり隊長  
ルンルン

観光隊長  
ミルミル

特産隊長  
モグモグ



キャンプ場のゆずの里オートキャンプ場  
滝ノ入ローズガーデン  
ブルーベリー狩り



## 豊かな自然がフィールド

観光  
遊ぼう！

季節ごとに楽しめる遊びがいっぱい。きれいな景色、澄んだ空気をたくさん感じて心も体もリフレッシュ。

まずは、観光隊長ミルミルが  
もろやまの魅力を紹介するわね！  
みんなついてきて！

### 探検レポート

1 | ゆずの里オートキャンプ場

イベント開催日もあります。要チェック！

2 | 滝ノ入ローズガーデン

春と秋、年に2回の見ごろがあります。

3 | ブルーベリー狩り

摘み取りできる期間はあっという間。短い旬を逃さないように。

### Tourist Information!

Introducing a rich natural environment, history and places to visit and enjoy Moroyama Town.

"Yuzu no Sato Auto Campsite" is 1.8 hectares in area and open from spring to autumn. At "Takinoiri Rose Garden", you can see 400 species of roses blooming. Around "Kamakita Lake", you can enjoy beautiful sceneries through four seasons such as cherry blossoms and autumn leaves. Many people visit there to enjoy walking, fishing and boat rowing.

滝ノ入ローズガーデン



楽しか〜



静かな山間に広がる滝ノ入ローズガーデンは、バラと里山の風景とが調和した癒しの空間。

平成21年にリニューアルオープンしました。バラのアーチのなかを歩いて、素敵な香りに包まれて楽しい散策のひとつを過ごしてみてください。

ゆず子のプチ情報

このバラ園はボランティアさんが育ててくれているのよ。バラは春と秋に見ごろを迎え、毎年5月と10月の2回、バラ祭りが行われるの。



山に囲まれたバラ園で、とっても雰囲気良いの！ 品種の違うバラのアーチをくぐる色とりどりの花が出現してくれます。1500株400種類のバラは必見よ！

次は家族でニよっ



ゆずの里オートキャンプ場



1

ゆず子のプチ情報

初夏にはホタルを見られるかも。AC電源・温水シャワー・洗濯機・乾燥機などが無料で使用できたり、日帰り利用もできるのよ。



ブルーベリー狩り

3



↑ 総面積は1.8ヘクタール、奥武蔵の自然のなかに溶け込んだオートキャンプ場です。

営業期間は春から秋まで。レンタル用品が充実していて、アウトドア初心者でも安心です。

キャンプ場の前には毛呂川が流れ、サワガニが生息しています。また、場内には遊歩道が整備されているので、散策も楽しめます。

←7月の中旬~8月中旬ごろ、夏の最盛期に摘み取りのシーズンを迎えます。背の低い枝にたわわに実る、甘い宝石のつぶのような実は子どもにも簡単に収穫できます。摘みたての新鮮なブルーベリーをぜひ一度食べてみて。

ゆず子のプチ情報

濃い青紫の実には注目の栄養素がぎゅぎゅつとつまっているよ。普段ジャムなどの加工品に触れる方が多い果実。4月ごろから愛らしい白い花をつけます。



あ〜っ！

# 鎌北湖

4



### ゆず子のプチ情報

鎌北湖は周囲約2km、水深20m、貯水量30万立方メートル。「山根溜池」が正式呼称で、農業用貯水池として昭和10年に完成した人造湖なのよ。



秋の紅葉まつりの時、撮影会があるのー！

湖の周囲には桜や紅葉が植えられて、四季を通じて美しい表情を見せます。山間にあり、その静かな湖面から別名「乙女の湖」とも呼ばれ、多くの観光客が訪れては散策、釣り、ボートを楽しんでいます。奥武蔵自然歩道の基点にもなっているために、近年は多くのハイカーで賑わっています。春には桜まつり、秋には紅葉まつりが開かれます。

5



# 宿谷の滝

とれとれ...



### ゆず子のプチ情報

滝の上には小さな公園もあるよ。



スワンボートってなんかカワイイよね



落差12メートル。流れ落ちる滝から発生するマイナスイオンと水しぶきで夏でも涼しい。山々に囲まれたせせらぎでは、子ども達が水遊びをする姿も見かけます。滝までは宿谷川に沿って遊歩道が整備されています。入口の駐車場から滝まで約10分。



新緑の季節

## 奥武蔵自然歩道



7

ハイキングは  
やっぱり気持ちいい！

毛呂山町の鎌北湖～北向地蔵～物見山～日高市の日和田山～巾着田～飯能市の天覧山へ。四季折々の美しい景色を楽しめる約11kmのハイキングコースです。また約4kmのコースもあり、初心者でも楽しめます。



ハイキング  
お楽しみ



紹介した場所は  
このあたりです。

点在場所だよ！



## 桂木観音



6

桂木山は、行基上人ぎょうきしやうじんが東国行脚あづまぎやをした時、古来からの景勝の地である大和の葛城山に似ているところからカツラキと名付けられたと伝えられています。入口には仁王門があり小柄な仁王像を安置。また門手前には鐘楼、山腹に千手観音の立像を安置した観音堂があります。この付近からの眺望が美しく、晴れた日には関東平野が一望できます。

### 探検レポート

#### 4| 鎌北湖

桜まつり・紅葉まつり・ボート・釣りが楽しめます。

#### 5| 宿谷の滝

自然のままの滝。散策や水遊びが楽しめます。

#### 6| 桂木観音

眺望が良く、あじさいが綺麗に咲くスポットです。

#### 7| 奥武蔵自然歩道

途中、物見山、高指山、巾着田には休憩所があり、またコースに沿って解説板が設けられています。

#### 8| 箕和田湖

初心者からベテランまでヘラブナ釣りが楽しめます。



こぶしの花

8

釣りの湖として知られ、多くの太公望が訪れます。定期的にヘラブナが放流され、桟橋から釣りを楽しむことができます。箕和田湖の周りには散策道が整備され、森林浴が楽しめます。また、箕和田湖下流にある「箕和田湖親水公園」には、野外ステージや休憩広場があり、春は“こぶしの花”に包まれます。

箕和田湖



# 行って、見て、 参加して



歴史あるお祭り、新しい  
イベント。元気な毛呂山の  
元気の素を一緒に楽しもう。

Let's enjoy festivals!

Moroyama holds historical festivals such as "Natsu Matsuri (the summer festival)" and "Shishimai (Lion Dance)". We have also new festivals such as "The Summer Festival Moroyama" with a firework display, "Yuzu no Sato Walk", where you can enjoy walking through mountains of Yuzu (a kind of citrus fruit), and "Ohruji Flower Festival". There are many enjoyable festivals throughout the year!

2

大類花まつり



さあ！次はお祭り  
大好きっ子ルンルンです。  
いってみよ！

## サマーフェスティバルもろやま



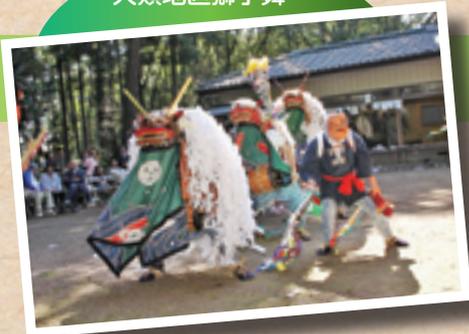
ドーンとお腹に響く  
大輪の花！飽き満点。  
やっぱり夏は花火だわ

1

毛呂山総合公園を会場に毛呂山の夏の終わりを彩る祭。民踊、よさこいなどは参加者全員が大盛り上がりします。夜には花火大会があり、大勢の見物客が集まります。



大類地区獅子舞



川角地区獅子舞



滝ノ入地区獅子舞



## ゆずの里ウオーク

3



### ゆず子のプチ情報

コース途中には毛呂山町の特産品の販売や各種イベントも用意されていて、歩きながら毛呂山の良さを知ってもらえる楽しいウォーキング大会なのよ。

ゆずの里ウオークは毎年11月23日(勤労感謝の日)に開催されています。町内外からたくさんの方が参加して、黄金色のゆず畑の風景を眺めながら、みんなでのんびり歩きます。



気持がよいですね！

### ゆず子のプチ情報

大類の花畑はボランティアさんたちが植えたもの。花の色が一層暖かく感じちゃつわね。夢のなかに出てくるような一面の花の海。その上を渡る風に吹かれてリフレッシュしてみては？



大類地区には遊休農地を利用した花畑が広がります。春にはチューリップ、ポピー。秋にはコスモスが咲きます。花の盛りには大類花祭りが開かれます。切花の販売や農産物の直売なども行われます。

### ゆず子のプチ情報



古い歴史がある、といわれているけれど、記録がなくてはっきりとは分からないの。だけど、獅子頭や神輿の歴史は古くて、江戸時代前期にはすでに奉納されていたといわれているわ。

## 毛呂本郷夏祭り



4

毛呂本郷の夏祭りは、毛呂の「お天王様」として古くから親しまれ、厄病よけとして行われてきました。夜の闇のなか、幻想的に光る山車の引き回しが見所で、盛夏を告げる皆が楽しみにしている毛呂山の代表的なお祭りのひとつです。



すてきな祭り！

### 探検レポート

#### 1 サマーフェスティバル もろやま

よさこいは幅広い年齢層で繰り広げられます。各チームの衣装も楽しみの一つ。

#### 2 大類花まつり

季節ごと花の盛りに開かれます。

#### 3 ゆずの里ウオーク

3種類のコースがあり、体力に合わせて選べます。無理せず楽しく歩きましょう。

#### 4 毛呂本郷夏祭り

7月の第3土・日曜日に開催。JR毛呂駅周辺を中心に開催されます。

#### 5 獅子舞

葛貫、大類、滝ノ入、川角の4か所で開催。

## 獅子舞

5

葛貫、大類、滝ノ入、川角地区で獅子舞が行われます。かつては町内の8か所で行われていた行事で、人びとの平安と五穀豊穡、疫病退散などを願う素朴な伝統行事として、地域住民により守り受け継がれています。



葛貫地区獅子舞

「もろやま愛情特産品」は、毛呂山町商工会が認証した自慢の逸品。ゆずなどの毛呂山伝統の特産物やその関連商品、毛呂山産の材料を使用した製品、毛呂山の歴史や地名などにちなんで商品化された製品のなかから選ばれました。ゆずとメジロのシンボルマークを目印にした安心で安全に楽しめる、私たちのまちの特産品です。



もろやまのゆず

ゆずの香りが  
たまらな〜♪



たくさんあるでしょ！  
愛情特産品は約31種類



## 素材の良さが自慢

取れたて、作り立てを堪能。地元産だから安心して食べられるおいしさに、思わず笑顔。

Proud of tasty local specialties!

Moroyama is known as the town of Yuzu. Eggs and vegetables are the other specialties. You can be satisfied with freshly picked and freshly made products. You are safe to eat them as they are local products. There are about 31 kinds of "Moroyama Aijo local specialties" authorised by Moroyama Town Commerce and Industry Association.

ラストは私がたくさん  
おいしいものを紹介し  
ちゃうからね！



「ゆずうどん」、「ゆずジャム」などゆずを使った製品開発も盛んです。たくさんゆず入りの美味しさのなかからお気に入りのゆず製品を探してみてください。



地元野菜だから  
新鮮でおいしいね！

## おいしい農産物

### 探検レポート

#### もろやまの 美味しい農産物はここで

- Jあるま野毛呂山農産物直売所
- かまきた直売所
- 毛呂山レインボーパーク  
滝ノ入特産の里直売所
- 新しき村直売所

・公会堂内の売店

・土曜・日曜・祝日に開く売店

※詳しくは新しき村ホームページをご覧ください。

<http://www.atarashiki-mura.or.jp/>

もろやまの野菜は新鮮で美味しいと評判です。もろやまの穏やかな気候のなか、美しい水と空気をたっぷり吸って育ちます。なかでも一押しはかぼちゃ。大きく、実の引き締まった優秀なかぼちゃたちは「無農薬」と言うところも自慢です。その甘いことといたら♪一度は食べてみる価値あり！



## ゆず加工品

ゆずうどん



ゆずロール



ボニージャム



ゆずジャム



## 卵



ゆずと並んでもう一つの毛呂山ブランドの卵。農林大臣賞を2回も受賞した自慢の逸品です。自然豊かな環境で生産された卵は、滋養豊かでミネラルたっぷりです。

愛情特産品の卵は、お店にはこの旗が立っているのよ。

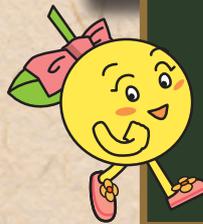


良質な水ときれいな空気が造るお酒。ゆずを使った毛呂山のワインはきれいなゆず色と上品な風味が印象的。この土地の食材を使った料理を楽しむならぜひ一緒に味わってみて。きつとお互いの持ち味をぐつと引き出してほしいなほなほです。



## ゆず子のプチ情報

ゆずの花言葉は「健康美」。いっぱい食べてきれいになっちゃいましょう♪ もう一つは…「恋のため息」。なんだか甘酸っぱい気持ちになっちゃつわね。きれいになって、恋のため息をつかないように頑張ろう。



## もろやまのお酒



ほろ酔い気分!



# 明日を見つめる まちづくり ストーリー



A Story of Tomorrow

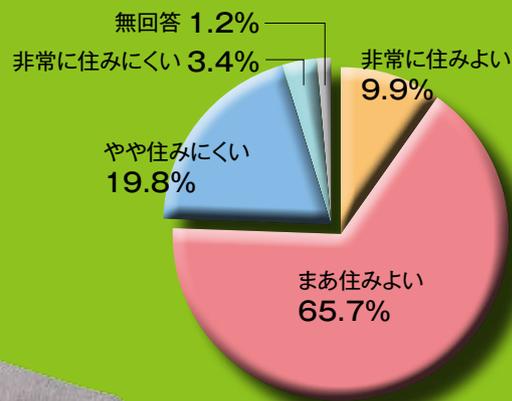
毛呂山の未来をパートナーシップで町民とともに描く。一人ひとりが主人公のまちづくりは住民と行政の協働によって進められています。都市計画に温かいぬくもりをプラスし、私たちのまちらしい特色を出してくれるのは、暮らす人たちの町への愛着です。これからも共に助け合い、笑顔と思いやりのあふれる、暮らしやすいまちを作っていきます。

## A Story of Town Building Reaching Toward Tomorrow

The citizens and government of Moroyama are working in cooperation for the town's future. We shall together build a town of mutual help and friendly atmosphere.

## わたしたちのまちは…。

住民が町を住みよいと感じているか、聞いてみると「非常に住みよい」「まあ住みよい」を合わせて75.6%の住民が住みよいと感じています。



総数=1,147人

資料：毛呂山町第四次総合振興計画  
「平成21年毛呂山町住民意向調査」

Blessed with verdant nature, Moroyama, torchbearer of culture and tradition, our dear hometown. With kind and sympathetic hearts we guide, we support, we reach out to one other as we step forwards, hand in hand, into the future.

Kenji Inoue  
Mayor of Moroyama

豊かな自然に恵まれ、  
伝統文化が脈々と受け継がれるもろやま  
郷土を愛し、思いやりあふれる心で  
助け合い、支え合い、手を携えて  
未来に向かって歩いていきましょう

毛呂山町長  
井上健次

## A town of history and culture amongst the mountains and forest

Let us spread the wonderful scent of our town's specialty, the yuzu, yuzu throughout Japan. / Protect and let thrive our tranquil forests and mountains, beautifully reflecting each season. / Creating a love for our hometown through learning history and culture.

## 里山に育まれた歴史と文化のまち！



- **ゆずの香りを全国に発信**…江戸中期から栽培されてきた町を代表する特産品のゆず。この品格ある香りを全国に届けよう。
- **里山の保存・再生**…四季折々に美しく変化を見せる里山。恵まれた自然をやさしく活かす山桜や紅白梅、ろうばい蠟梅を町中に広め、心とむ里山を育てよう。
- **歴史・文化の学習**…武者小路実篤先生が唱える共生社会の教えや、流鏝馬、鎌倉街道などの歴史・文化を学び、郷土に対する愛着心を高めよう。

## 人づくりと命を大切にすまち！



- **希望を抱く子どもの育成**…基礎学力の確かな定着と、スポーツ健康都市宣言の町にふさわしい健康で希望を抱いた子どもを社会全体で育てましょう。
- **埼玉医科大学病院との連携**…福祉と保健と医療の機能をもった県内唯一の埼玉医科大学病院との連携を深め、安心して住み続けられる町を築きましょう。
- **共に支え、助け合うまち**…誰もが住み慣れた町で、いつまでも健康でいきいきと暮らしていけるよう地域福祉の担い手の輪を広げましょう。

## 活力のある安全・安心なまち！



- **生活道路、通学路**…住民にとって最も身近な生活道路や通学路を計画的に整備することにより、地域住民の安全と暮らしやすさが高まります。
- **新飯能寄居線バイパス**…毛呂山町工区のバイパスが完成したことにより、快適な都市交通の実現と沿線地域の活性化が図られ、さらには優良企業進出に向けての条件整備が着々と進んでいます。
- **武州長瀬駅北口周辺地区**…長瀬駅前野久保線や橋上駅舎などの整備により、駅利用者や周辺住民の利便性が向上し、あわせて道路が前久保中央公園と接続することにより周辺地域の防災機能が確保されます。

### Placing the highest value on nurturing our people

Our entire community helps to raise healthy children with aspirations. / Building a town of safety and security with Saitama Medical University Hospital. / Expanding a network of mutual help ensuring active lives in town.

### An active town with safety and security

Improving our roads and walkways enhances the safety and daily lives of our citizens. / With Moroyama's completion of the bypass, the town now enjoys a more comfortable transportation system and better way of life as an area accessible to major highway lines. Moroyama becomes increasingly appealing with every passing day to the most first-rate of companies and industries. / The Nagase Station Nokubo Line Project is improving the lives of station users and local citizens while ensuring disaster safety by linking with Maekubo Chuo Park.



# 明日を見つめる まちづくり ★ ストーリー

A Story of Tomorrow



泉野学童保育所



## 学童保育所

町内に3か所ある学童保育所では、子ども達が安心して遊んだり、勉強したりできるよう指導員が温かく見守っています。

医療・福祉・保健 WELFARE & HEALTH

Tomorrow's Story 1

# 健康で安心して暮らせる まちづくり

誰もが健康で生きがいを持ち、生まれてきた喜びを感じるまち。



## デイサービスセンター

日帰り介護サービスが受けられる施設です。趣味や季節の行事を楽しんでいただきながら、身体機能の維持、増進を図ります。また、介護者の負担軽減を図ります。



1歳6か月児健診



健康相談

## 保健センター

乳幼児健診をはじめ、子どもの予防接種、歯科教室、育児相談など子どもたち一人ひとりの健康を支援する事業を行っています。また、健康相談、各種検診、各種健康教室も開催し、町民の健康保持、増進を促し、疾病の予防を図ります。



佐藤 典子<sup>たくみ</sup>さん 工<sup>くん</sup>くん  
(児童館利用者)

息子には、人とのふれあいを体験できる場所、私には気分転換の場所です。

びよんぴよん広場には息子が1歳7か月から参加しています。

我が家は親子3人家族で、子どもにはちょっと人見知りもあり、最初は泣いてばかりいました。いつも泣いていたので皆さんに申しわけない気がして、やめようかと思った時期もありました。先生に相談すると「泣いていても耳はしっかり聞いて、ちゃんと吸収していますよ。大丈夫」と言われました。その言葉通り、しばらくすると、会場では泣いていたはずなのに家に帰ってからは習った踊りを真似て見せるようになりました。息子の成長を目の当たりにし、うれしい気持ちと共に子どもの持つ可能性をあらためて実感しました。それからは親子で楽しみながら通っています。

今では3歳児対象の幼児クラブにも参加し、週2回児童館へ通っています。「明日、児童館へ行くよ」と言うと息子は張り切ってご飯をいっぱい食べます。誰も知り合いのいなかった毛呂山町に子どもを通じてたくさんの友人ができました。児童館は子育ての悩みを分かち合える人達と過ごせる大切な場所となっています。



町では子どもを産み育てやすい社会を目指し、子育て中の家庭を支援しています。保健センターでは子育ての不安を少しでも軽減できるように、妊婦のころから母親学級への参加を呼びかけ、出産後は乳児健診を通じて、「コミュニケーション」を図っています。進む核家族化のなか、幼児期の子どもを持つ家庭の孤立化解消を目的に、児童館などの施設では、子どもの発育を促す遊びを通じて保護者が出会えるようなイベントが企画されています。

また、子どもを持つ家庭が安心して働けるように保育所、学童保育の充実に努め、現在ではその結果が大きく実を結んでいます。そして子育て世代の経済的負担を軽減するために、こども医療費の支給対象を中学3年生まで拡大しました。

保健センターでは、予防接種をはじめ、病気にならないための保健指導や相談、病気の早期

発見などにも力を入れています。

また、埼玉医科大学病院を中心とした医療機関との連携によっていつでも適切な医療を受けることができるよう努めています。必要な時に高度医療が受けられる機関が身近にあることは、この町の大きな特徴でもあります。

高齢者が健康で生きがいを持って生活を送るために社会参加や趣味活動の支援、要介護者にならないための健康づくり、また介護が必要となったときにはデイサービスの利用など、一人ひとりに合ったサービスの充実を図っています。

さらに、障害を持つ人が住み慣れたまちで、自分らしく生活するための支援をしています。「ノーマライゼーションとリハビリテーション」を理念に、自立して生活できる社会作りを目指しています。

毛呂山町は誰もが生きがいを持ち、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。



### 埼玉医科大学病院

地域の医療機関と連携し、地域医療における高度医療を提供する役割を担っています。

### Developing a town where people can live safely and healthily.

Our town aims at developing a society where, one can feel safe to have and raise children have. The health center for the society communicates with parents or guardians through Mother's class and infant health checks. The facility such as Child's Hall holds events that give guardians the chance to meet each other. Also, we have improved the care program for younger children and nursery center and subsidized a part of the medical expense for children up to junior high school students. In order to reduce the financial burden of families.

We support elderly people to have healthy lives and improve the services such as day-service for elders who need care. We support disabled people to live in ways they like.

Health Center focuses on various types of vaccinations, health guidance and counselling, as well as prevention and early detection of illnesses. The town's merit is a strong cooperation between medical institutions headed by Saitama Medical University Hospital where one can receive high quality medical treatment.

# 明日を見つめる まちづくり ★ ストーリー

A Story of Tomorrow



## 学校給食センター

平成18年9月から利用が開始された学校給食センターはオール電化を取り入れたクリーンでエコな施設。県内外からも多くの団体が見学に訪れます。徹底した衛生管理のもと、町立小中学校の約3,000食を美味しく安全に調理しています。

教育・文化 EDUCATION & CULTURE

Tomorrow's Story 2

# 学びを未来に活かす まちづくり

一人ひとりに応じた教育の充実。みんなが学び、成長するまち。

教育の充実は、将来のまちづくりへと繋がります。

とくに基礎学力は将来毛呂山を担っていく子どもたちが様々な課題に取り組むうえで、必要不可欠な能力です。町では、「基礎学力日本一」を目指し、町内小学校4校、中学校2校すべてに支援員を配置し、子どもたち一人ひとりの習熟度に合わせて、きめ細かいサポートを行っています。少人数指導や体験学習の実施など、様々な取組を行うことで、子どもたちの学ぶ意欲を高め、子どもたち一人ひとりがわかる喜びを実感し、夢をかなえる力を育てられるよう全力を注いでいます。

また、生涯学習社会の実現を目指し、年代に応じた学習機会の充実、リーダー育成、成果の活用機会の提供を図っています。様々な講座や教室、発表会などのイベントを開催し、いつまでも生きがいを持って学びたい、学ぶ人たちがふれあえるまちづくりを推進しています。生涯学習の場である町内2か所の公民館では、約270のサークルが、それぞれの趣味、芸術活動に熱心に取り組んでいます。

スポーツ施設も充実しており、9ヘクタールの広大な敷地を持ち、体育館やグラウンド、テニスコートなどを備える総合公園、ナイター照明を完備した大類グラウンド、国体会場となった大類ソフトボールパークなどで、町民は気軽にスポーツを楽しむことができます。



奥隅 英夫さん

(マジッククラブ MORO)

### マジックとの出会いが地域の和を広げてくれました。

中央公民館で月に2回開かれているマジッククラブMOROの活動は、今年で11年目を迎え、17人の会員で和気藹々<sup>わきあいあい</sup>と行っています。

会では月に1回、講師の先生をお願いして、「基本に忠実に」を心がけ、発表会を目標に日々練習をしています。

会の活動のなかにはボランティア活動があります。習得した技術を活かし、無償で学校、デイサービスセンターをはじめ、色いろなところへ呼ばれては数人でマジックショーを行います。町内外を問わず、敬老会などのお祝いの席や、イベントなどに招かれることもたびたびあり、活動の幅が広がっています。

マジックの醍醐味は、マジックを見に来てくれた小さい子どもが目を丸くして驚いたり、喜んだりする顔を見ることができることです。マジックは習う楽しみだけでなく、人にも喜びを与えることができます。私にとってマジックは、素晴らしい生涯学習活動になっていて、毎日が楽しくて仕方ありません。

現役時代には地域に知り合いがあまりいませんでしたが、今ではマジックが人の和を広げてくれたと思っています。



### 音楽祭

日ごろの練習の成果を発表する晴れの舞台。家族や仲間が見守るなか美しい歌声が響きます。



### 公民館まつり

町内2か所の公民館で、各サークルが舞台発表、展示、体験教室など、それぞれ工夫をこらした発表を行います。



### 大類ソフトボールパーク

公式大会に使用されることも多い大類ソフトボールパークは、外野の天然芝が美しいグラウンドです。

### Developing a town where you can use leaning for the future.

Good education for children leads to the establishment of the town's future. The town aims to establish basic academic ability to support all elementary and junior-high school students by sending support staff according to the learning level.

We are also seeking realization of a lifelong learning society, to improve the age-appropriate learning opportunities, train leaders and provide the chance to use their abilities. We are trying to develop a town where one can encourage each other to learn and study at any age.

There are about 270 activity groups at two public halls in the town. We have a variety of sport facilities where you can feel free to enjoy sports at the comprehensive park, Ohrui ground, Ohrui softball park etc.

# 明日を見つめる まちづくり ストーリー

A Story of Tomorrow



## 西入間広域消防組合

毛呂山町、鳩山町、越生町で構成する消防署。地域の防火、救急の要です。



## 長瀬駅前交番

地域の安全と安心のための拠点として活動しています。

安全・防災 LIVING & ENVIROMENT

Tomorrow's Story 3

# 自然と共生した 安全で快適なまちづくり

快適な生活と美しい自然が共存する、ぬくもりあふれるまちで暮らす。



## 河川の保全

豊かな自然に恵まれた地の利を生かしながら、町内に流れる河川の安全を守ります。



## 新飯能寄居線バイパス

越生町境から日高市境まで貫く新飯能寄居線バイパス。基幹道路を整備し、住みよいまちづくりを進めます。



## 資源回収

環境に優しい循環型社会を目指し、積極的にリサイクル活動に取り組んでいます。



小山 政次さん  
(防犯ボランティア「ゆず」会長)

### 防犯ボランティアの活動を通じて、地域の防犯意識が高まっています。

平成17年、毛呂山交番の廃止に伴い、自主防犯組織防犯ボランティア「ゆず」は結成されました。主な活動は「町の安全・安心」をモットーに町内を広域的にパトロールし、犯罪に対する抑止効果を高めることです。あわせて、下校時の児童・生徒の安全を守ることを活動の柱としています。平日、児童の下校に合わせ午後2時から6時までを活動時間とし、町職員とボランティアの官民一体のチームで、青色回転灯を装備した4台のミニパトロールカーで町内全域を巡回しています。うれしいことにこの活動は地域の防犯だけに留まらず、毛呂山町の防犯意識を飛躍的に高めることとなりました。会の発足後、多くの地域に自主防犯パトロール隊が組織され、犯罪の抑止効果を発揮しています。

平成20年には「安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。そして何より励みになったのは子どもたちが感謝の気持ちとして作文や感謝状を私達に寄せてくれたことです。

これからの課題は、この活動を長く継続させるために新しい仲間を増やしていく事です。広く活動を知っていただき、たくさんの方に理解を深めていただけるように努めたいと思っています。

快適な生活の第一条件はまず安全・安心です。警察官の活動拠点である交番、火災・救急の拠点である西入間広域消防組合が住民の安全を見守る存在となっています。さらに、「自主防犯」という考えの下、平成17年には防犯ボランティア「ゆず」が発足しました。小学校児童の下校時に行われる防犯パトロールでは、「ゆず」をはじめ、PTA、スクールガード、近所の人びとなど多くの人が携わっています。まさに毛呂山町は官民一体で住民の安全で安心な暮らしを支えている

るといえます。また、便利な生活の柱として、交通網の整備は欠かせません。円滑な都市交通を確保するために、広域的な幹線道路と町内を結ぶ道路の整備、渋滞緩和のための対策を段階的に進めています。新たな住民サービスとして、平成21年には、町内循環無料バスの運行が開始されました。広域で変化に富んだ毛呂山町の地域と地域を結ぶ、人にも環境にも優しいサービスです。このほか、近代的な大型リサイクル施設の川角リサイクルプラザを効率的に活用し、自然と共生した町づくりを行っています。便利で快適な生活のための取組は着々と進められています。



### 防犯ボランティア「ゆず」

町の安全・安心を守るために町内を広域的にパトロールしています。



### 循環バス

循環無料バスは役場を起点に、町内各地を走ります。

#### Developing a safe and comfortable town that lives together with nature.

We are progressing a project to keep residents' lives comfortable as well as preserving a rich natural environment.

Police department and Nishiiruma Fire Department, which is a center of fire disaster and emergency, are observing residents' safety. In accordance with a policy of "Self Disaster Prevention", a disaster prevention volunteer group "Yuzu" had been set up in 2005. "Yuzu", school guard, and the neighborhood are involved in anticrime patrols when elementary school children go home. It can say that the government and the private sector support peaceful and safe life together.

In order to keep smooth city traffic, we progress a project in stages to maintain the roads connecting wide-area main roads to the town, and to ease congestion. As a new service for residents, the free of charge circle bus has been operated in the town since 2009. A service that is friendly to the environment and people connects district to district. In addition, by efficiently using a recycling facility, Kawakado Recycle Plaza, we are developing a town that can live together with nature.

# 明日を見つめる まちづくり ★ ストーリー

A Story of Tomorrow



## 農産物直売所

地産地消。採れたての新鮮な美味しさは理屈抜き。地元の朝取り野菜、加工品が販売されています。



## 商業施設が充実

身近な場所に生活必需品がすぐ手に入る商業施設があります。

## 産業・経済 INDUSTRY & ECONOMY

Tomorrow's Story 4

# 元気に 仕事ができる まちづくり

このまちを楽しもう、  
活気あるまちづくりは笑顔が原動力です。

商工業、観光、農林業の振興を支援し、働く場が多く、住民が元気に仕事ができるまちづくりを支援します。

商工業の活性化は住民の生活の利便性を高めるとともに大きな雇用の場となるため、今後も企業の誘致活動を進めていきます。

また、地域の自然や歴史、文化を生かして観光にも力を入れています。鎌北湖をはじめ、滝ノ入口スカーデン、ゆずの里オートキャンプ場、流鏑馬や鎌倉街道、桂木観音など、個性あふれる観光資源を積極的にPRし、様々なイベントを行い集客を図っていきます。

農産物、加工食品の販売にも力を入れています。毛呂山町農産物加工研修センターでは、地域の農産物を利用した加工品づく

りを通じて地域の活性化に取り組んでいます。町内で生産された有機大豆を使用した豆腐は、とても好評です。直売所で販売される加工品のなかには、子育てを終えた女性が製造、販売を手がけているものも数多くあります。高齢者にとっては社会参加の場、生きがいの場にもなっています。これらの加工品は新たな毛呂山の魅力として観光開発の役割も果たしています。

また、農業青年会議所の主催するジャガイモ掘り、遊休農地を利用した花畑も新しい取組です。

歴史あるお祭りやスポーツ、イベントには周辺市町からの参加も多く、経済効果も期待されています。



大久保 岳史さん

(ゆずの里商店街 大久保ストアー)

商店街には笑顔の見えるコミュニケーションがあります。

私は、この毛呂山町が商店街を通じてさらに盛り上がりたてたいと願っている。家業の仕事とともに商店街活動を通じて、まちづくりに力を入れています。

活動をするなかで私のテーマは「毛呂に関わる全ての人と楽しむ」ということです。この商店街が、誰もが気兼ねなくおしゃべりができ、心と心が繋がっている場となり、そのやり取りのなかで楽しい時間を刻んでいきたいと願っているのです。それは現代社会には少なくなってきた目と目を合わせたコミュニケーションができるまち。「こんにちは」、「ありがとう」、「待っているからまた来てね」そんな言葉が交わされる、笑顔の見えるコミュニティをつくり、ここを通じてたくさんの人たちと関わっていきたくと思っています。

商店街では、誰もが安全で気持ちよく、楽しく過ごせるまちづくりの一環として、毛呂川の清掃や街灯の設置など、地元環境整備や防犯活動に積極的に協力しています。また、春と秋に祭りを開催し、地域の皆さんが楽しみにしてくれるイベントになるように努めています。

ゆずの里商店街が毛呂山町の人と人をつなぐ場になって欲しいと心から願っています。



紅葉まつり

美しい鎌北湖の紅葉を楽しむとともにイベントも開催され賑わいをみせます。



ジャガイモ掘り

平成11年から続く毎年恒例のイベント。その楽しさと美味しさから家族連れなどで賑わいます。

Developing a town where residents can work livelily.

We promote trade and manufacturing, tourism, and agriculture and forestry to support residents to work livelily.

We also focus in tourism making use of our nature, history and culture. We also promote the tourist resources including Kamakita Lake, Takinoiri Rose Garden, Yuzu no Sato Auto Campsite, Yabusame, Kamakura Kaido and Katsuraki Kannon (Deity of Mercy), to attract new visitors.

The Processed Farm Products Training Center is revitalizing the local community through producing processed products. Some of products are produced and sold by elderly people. This gives them the chance to join the society and enjoy their lives. These processed products are the new attractions of Moroyama. Potato digging held by the Agriculture Junior Chamber and using unused farmlands as flower meadows are also our new projects.

# 明日を見つめる まちづくり ★ ストーリー

A Story of Tomorrow

まちづくり COOPERATION

Tomorrow's Story 5

## 住民と行政の 協働によるまちづくり

住民と行政の協働で安全・安心のまちづくり。笑顔の種まきは支えあいのところから。



### 子どもをまもる家

PTAの協力により始まった活動。地域の人がやさしく見守ってくれている。

一人暮らしの高齢者、障害者、子育て中の家庭など、社会の変化によって増え続ける「支援を必要とする人」を地域で見守る活動として、自主防災組織の立ち上げや見守りネットワークづくりなど、災害時における要援護者の把握が進んでいます。

町では、ボランティア団体や民間団体、地域の人びとと行政が共に支え合い協力し、安心で暮らしやすい町づくりを目的とした「地域福祉計画」を策定し、様々な取組を推進しています。

そのほか、子どもをまもる家の協力など住民と町による協働の取組は、毛呂山の目指す「共に支えあう暮らし」を実践するものであり、その役割は今や町に欠くことのできないものとなっています。また、町に花を植える花いっぱい運動など、その地域を愛する住民の活動が暮らしやすい町づくりの原動力となっています。



### 自主防災組織活動

防災意識の向上とともに地域のコミュニケーションにも役立っている。



下田一甫 副議長

堀江快治 議長

## もろやまらしさを大切に。 町民の良きパートナーとして 毛呂山の明日を考えます。



小山 格 副町長

井上健次 町長

粟田 博 教育長

毛呂山町議会は4年に一度の選挙で選出された町民の代表である14人の議員で構成されています。年4回開催される定例議会と必要に応じて招集される臨時議会によって条例の制定、予算の決定などを審議しています。議会は常に町民の声に耳を傾け、民意を反映させた方針決定を行います。

町では、第四次毛呂山町総合振興計画に基づき、自然環境を守りながら、安全・安心で暮らしやすい町を目指し、住民と行政の協働によるまちづくりを進めています。

## The opinion of towns people



大野 文允ふみよしさん  
(第二団地町内会長)

「災害時に一人も見逃さない」の合言葉を原点に、見守りを続けていきます。

「この高齢化社会のなかで、災害時に1人も見逃さないため、何かしなければならぬ」。そう考えた第二団地内、6地区の区長が民生委員と協力して、平成20年に「65歳以上の高齢者」と「障害を持つ人のいる家庭」を対象にした「見守りネットワーク」を発足させました。

地域から立ち上がったこの活動のお手本は何もなく、役場などの行政機関への協力要請や、要援護者に理解を得るなど、すべてが手探りでした。規約や登録カード、地図などが独自に編み出されました。今では町内に「協働、共助」の意識が高まり地域福祉活動が活発になっていますが、私たちのやり方がその活動の雛形ひながたとなっていると聞き、努力の甲斐があったと思っています。

日ごろは要援護者にこまめに声をかけ、状況の変化を常に把握するように心がけています。そのおかげで見守られる人からも「声をかけてもらって心強くなった」「顔見知りの人も増えた」などの声が寄せられています。将来は、この活動で地域全体のコミュニケーションが深まり、隣近所が互いに助け合えるまちができればと願っています。



議会

### Developing the town by collaboration of residents and government.

People who need support such as elderly people living alone, disabled people and families raising children. We figure out who need help at the time of disasters and set up an organization for the self-disaster prevention and an observing network.

The town drew up “The Area Welfare Project” aiming to develop the town that is safe and comfortable to live by collaboration of volunteer groups, private organizations, and the government, and for local people to support each other, and support various projects.

Fire and crime prevention is Moroyama’s next project. Its aim is for people to support each other. This is essential for the town today.

The activities of the residents who love the area, such as “Full of Flowers Activity”, are the motivation for the development of the town where people can live comfortably.

### Moroyama Town Council

Moroyama Town Council is composed of 14 councilors who are the town representatives elected once in four years. The councilors discuss the regulations and budget. The council always listen to the town residents and reflect their opinions in making a policy.

鳩山町

坂戸市



# 毛呂山町 ガイドマップ



MOROYAMA GUIDE MAP





# 越生町

飯能市

日高市

⊕ 医院・診療所

# 主な公共施設

moroyama facilities

※施設写真左上の番号は前ページの地図に記載されています。



## 1 毛呂山町役場

住所 中央2丁目1  
電話 049-295-2112  
利用時間 8:30~17:15  
お休み 土・日・祝日、年末年始



## 2 中央公民館

住所 岩井西1丁目15-1  
電話 049-294-1250  
利用時間 9:00~21:30  
お休み 年末年始



## 3 東公民館

住所 川角298-1  
電話 049-295-2277  
利用時間 9:00~21:30  
お休み 年末年始



## 4 ウィズもろやま(福祉会館) 社会福祉協議会

住所 岩井西5丁目16-1  
電話 049-295-3111  
利用時間 9:00~22:00  
お休み 年末年始



## 5 図書館

住所 岩井西4丁目18-1  
電話 049-295-1015  
利用時間 9:00~19:00(平日)  
9:00~17:30(土・日・祝日)  
お休み 月・祝日の翌日、平日の月末日



## 6 老人福祉センター山根荘

住所 阿諏訪1527  
電話 049-294-5545  
利用時間 9:00~16:00  
お休み 土・日・祝日、年末年始



## 7 歴史民俗資料館

住所 大類535  
電話 049-295-8282  
利用時間 9:00~17:00  
お休み 月・祝日の翌日、年末年始



## 8 保健センター

住所 川角305  
電話 049-294-5511  
利用時間 8:30~17:15  
お休み 土・日・祝日、年末年始



## 9 教育センター

住所 毛呂本郷7-4  
電話 049-295-0622  
利用時間 10:00~16:30  
お休み 土・日・祝日、年末年始



## 10 児童館

住所 川角449-4  
電話 049-295-4111  
利用時間 9:30~17:30  
お休み 日・月・祝日(子どもの日を除く)、年末年始



## 11 学校給食センター

住所 目白台4丁目3-4  
電話 049-294-2242



## 12 大類グラウンド

住所 大類717  
電話 049-295-5300  
利用時間 9:00~21:00  
お休み 月、年末年始



## 13 総合公園体育館

住所 大谷木443  
電話 049-294-7101  
利用時間 9:00~21:00  
お休み 月、年末年始



## 14 毛呂山町デイサービスセンター

住所 川角303-3  
電話 049-276-7977  
利用時間 10:00~16:00  
お休み 日、年末年始、祝日



町の鳥 ●めじろ



町の木 ●ゆず



町の花 ●きく



もろやま

## 2010 毛呂山町勢要覧

発行日 ■平成22年3月

第2版 ■平成24年7月

発行 ■毛呂山町

埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

TEL.049-295-2112 FAX.049-295-0771

URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

企画・編集 ■毛呂山町秘書広報課

制作 ■株式会社文化新聞社

# 町民憲章

毛呂山は恵まれた自然と先人の築いた歴史を持つまちです。わたくしたちは、ふるさと毛呂山に住むことを誇りに思い、さらに住みよいまちづくりをすすめるため、ここに町民憲章を定めます。

- 一、ふるさとを愛し、緑と清流をまもります。
- 一、きまりをまもり、明るいまちをつくります。
- 一、ふれあいの輪を広げ、思いやりの心を育てます。
- 一、スポーツに親しみ、健康な家庭を築きます。
- 一、教養を深め、文化のかおりを高めます。

平成二年四月一日制定